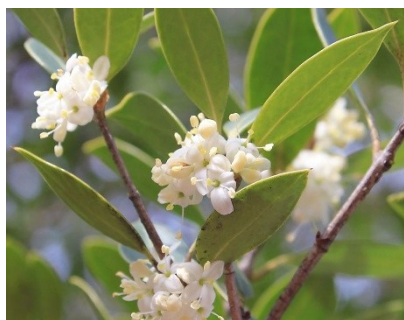


213 号

K-PURO® NEWS2025 年
(令和 7 年)
12/25 (木)**今月の言葉：****色とりどりに咲く花のように**ヒイラギ
用心深さ

作家・武者小路実篤の言葉に「君は君、我は我也、されど仲良き」があります。

価値観の異なる相手との間で意見が分れることがあったとしても、互いに尊重し合うことで、「されど仲良き」となれるでしょう。

百花繚乱とは、さまざまな花が咲き乱れる様子を表す言葉です。

他を自分の色に染めようとするのではなく、全体の調和の中で他の色と自分の色を織り交ぜることで、すべてのものが生き生きと輝くのではないのでしょうか。一人ひとりとは違って当たり前。

「違い」は「間違い」ではないのです。

事件ファイル No. 213**ニセ警察詐欺**

自宅の固定電話や携帯電話あてに、警察官を名乗り、

「あなたの口座が犯罪に使われている」

「あなたの携帯電話が不正に契約された」

などと様々な理由をつけて、「資産を保護する」、「口座を調査する」などといって、現金をだましとったり、振り込ませたりする詐欺の手口が増加しています。

警察官役の犯人は、「あなたは逮捕される」などと不安を煽ったり、偽の警察手帳や逮捕状を見せてくるケースもあります。

電話会社や総務省等を名乗り、「携帯電話の未納料金がある」などといった後に、警察官役に交代するケースや、SNS・LINE のビデオ通話、ニセ県警ホームページでへ移行されるケースもあるので、注意が必要です。

また、入れ墨があるかことを調べるため、上半身裸にさせられ、録画しているので SNS 上にアップするなど脅迫を伴った性的被害の例も散見されています。

【ポイント】

ホンモノの警察官は・・・

- ・電話で事件対象となっていると伝えることはない
- ・メッセージアプリで連絡することはない
- ・個人のスマホにビデオ電話をすることはない
- ・警察手帳や逮捕状の画像を送ることはない
- ・捜査などの名目で金銭を要求することはない



(ニセの警察官と手帳)



(ニセの逮捕状)



警視庁 HP 抜粋

今月の良い話

何でも売ってしまうカリスマ販売員の極意

ご依頼いただいた企業様のスタッフ、販売員の接客指導にも取り組んでいるのですが、その際によく伝えているのが「利他の心」の大切さなんです。

利他の心、利他の経営を大事にされている京セラ創業者の稲盛和夫さんが、科学、技術、思想、芸術の分野に大きく貢献した方々に「京都賞」を贈っていただけますね。

私もそれにちなみ、利他の心で周りの模範になるような接客をした販売員には、ポケットマネーで「橋本賞」を差し上げています（笑）。

というのは、私のこれまでの経験からしても、販売員は自分のノルマや利益を考えないで接客したほうが逆にうまくいくんです。

例えば、多くの企業が年度末になると決算セールをしています、目先の売り上げ、ノルマを追うと、どうしても自分たちの都合を優先し、先ほどのお客様の未来が見えなくなってしまうんですね。

それに自分さえノルマを達成すればいいんだというように、会社の仲間と協力していこうという雰囲気もなくなっていきます。



ですから、接客する時には、「お客様の利益が十、こちらの利益はゼロでもいい」と私はお伝えしています。

極端に思われるかもしれませんが、少しでも自分の欲が出ると、商品単価を上げようとか、誤魔化して売ってしまおうという強引な販売になってしまい、結果的にはお客様が離れてしまうんです。

人間も動物なので、相手がどういう気持ちで自分に商品を手売ろうとしているか、意識的にせよ、無意識的にせよ、波動を感じるものですよ。

無理なノルマは歪みを生みます。

長い目でみると利他の心、博愛の精神でやっているところが、やはり成長しています。

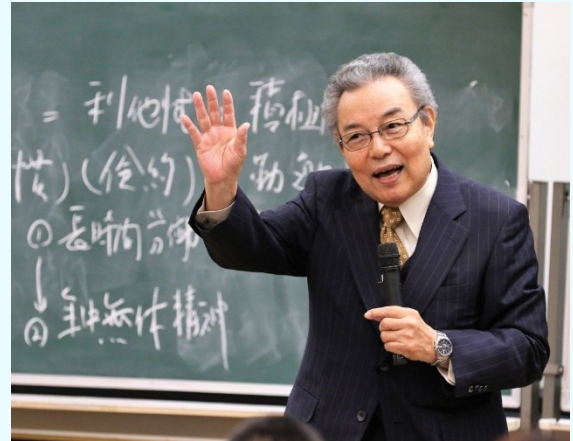
今月の良い話

日本に老舗が多い4つの理由

日本にはなぜ老舗が多いのでしょうか。
まず、何をおいても島国日本は先の戦争後の一時期を除いて、他国の支配を全く受けなかったことが挙げられます。
これらの地理的、歴史的な環境や条件に恵まれていたことは何よりも幸いなことでした。

2番目の理由は日本人の勤勉性。
つまり、仕事に手を抜かず、一途に打ち込む国民の習性です。
宣教師のフランシスコ・ザビエルは、慎ましく勤勉な日本人の民族性に驚きました。
「500年後、日本人は世界を代表する民族になるだろう」と賞賛。
その言葉のとおり、日本人の勤勉、儉約の精神はいまや世界中の人々が認めるところとなりました。

3番目の理由は、顧客のために誠心誠意尽くすという顧客第一主義です。
この顧客第一主義は日本独自のものと考えてよいでしょう。
西洋の国々の思想的ベースにはキリスト教があり、その根本は神の愛、隣人愛です。
だとしたら、商いにもそれが反映されて然るべきですが、残念ながら顧客第一主義、利他主義という概念は彼らにはありません。
むしろ善悪よりも損得を優先する個人主義的な考え方が主なのです。



そして4番目は人材の育成です。
徹底して社員の面倒を見て教育し、最後には暖簾(のれん)を分けるという発想もまた西洋にない日本独自のものです。

もう一つ、私は老舗といわれる企業や店舗を訪れるたびに驚くことがあります。
どこも立派な神棚や仏壇が備えられているのです。
店主や従業員は毎日、神仏に向かって伝統を守り抜くことを誓います。

私はこれを祈願ならぬ「祈誓」と呼んで、自身も日々実践しています。
神仏に手を合わせ、両親の笑顔を思い浮かべると不思議にスッと心が開いて、誓いが腑に落ちるのです。
先人への感謝を忘れないでいることも、人や企業が繁栄する大切な要素なのかもしれません。

プロ太の小話集 No.213 スクラップ車の自慢

深夜のスクラップ置き場で、3台の自動車が自慢大会を始めました。

ボルボ

「わしは、頑丈な体でオーナーを事故から守って、ずいぶんと感謝されたもんさ」

トヨタ

「わたしは、少ない燃料で軽快に走って、オーナーに随分感謝されましたとも」

クライスラー

「俺は、オーナーにP L 訴訟でずいぶん儲けさせてやったぜ！」



12/14 義父が肺炎で88歳で亡くなりました。

私が独立する時に、木更津のジャスコのレストランで二人きりで義父に報告した際、余計なこととは言わず、ただ「応援している」と言ってくれたのを昨日のように思い出します。

その後も弊社で毎月発行しているこの K-PURO NEWS をいつも楽しみにしてくれました。

ここ数年間は認知症になり、NEWS を読むこともなくなりましたが、最後のお別れの歳には、柩に先月号の NEWS を入れさせてもらいました。

結婚の許しをもらう際に訪問した時、私はなかなか「結婚させて下さい」の一言が言えず、緊張から酔いつぶれてしまい、2時間後に目が覚め、改めて、やっと「結婚させて下さい」と話すことができました。その言葉に義父は「返品は利かないよ」と優しい口調で返してくれました。

誕生日が同じ日の義父。

陰ながら弊社のことを一番気にかけてくれたのを感じます。

いつの日かまたお酒を酌み交わしましょう。

応援
団体企業



加盟団体

RID2770 川口モーニングロータリークラブ

NPO法人 さいたま起業家協議会

公益社団法人 千葉東法人会

公益財団法人 モラロジー道德教育財団

<https://kawaguchi-morning.jp/>

<https://saitama-kk.org/>

<https://www.chibahojin.jp/>

<https://www.moralogy.jp>

事業所

商号 株式会社ケイプロ

屋号 都市防犯プランニング社

本社 埼玉県蕨市中央1-7-1シティタワー蕨

千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20江澤ビル

<https://k-puro.co.jp/>

mail info@k-puro.co.jp

TEL 048-446-9445

TEL 043-243-6110

業務内容

機械警備事業 弊社のセキュリティプランにセコム・ALSOK の大手警備会社のインフラを使用

防犯カメラ事業 周辺環境・建物構造・人的要因等を加味し用途に沿ったカメラ選別と適位置へ設置

損害保険事業 セコム損害保険の代理店としてお客様に最適なプランをご提案